

株式会社キムラ化学

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2021 年11月1日～ 2022 年10月31日)



作成日： 2022年11月30日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

環境経営方針

<環境経営理念>

本業であるプラスチックの生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでいます。

<環境保全への行動指針>

- 1． 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2． 電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3． 一般廃棄物の削減に努めます。
- 4． 廃プラスチックの発生抑制に努めます。
- 5． 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 6． 全従業員に周知し、エコ活動を通じて明るく活気のある職場づくりを推進します。

制定日： 2019年8月1日

代表取締役社長 **安達由紀**

□組織の概要

更新日：2022年11月25日

(1) 名称及び代表者名

株式会社キムラ化学

代表取締役 安達由紀

(2) 所在地

本 社 大阪府東大阪市柏田西2丁目1番26号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 安達 由紀 TEL06-6728-6238

担当者 代表取締役 安達 由紀 TEL06-6728-6238

(4) 事業内容

プラスチック中空成形

設立2016年1月15日

(5) 事業の規模

売上高 取引先との都合により非公開といたします

		本 社
従業員	名	6 名
延べ床面積	㎡	992 ㎡

(6) 事業年度

11 月 1 日 ～ 10 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社キムラ化学

対象事業所：本 社

活動：プラスチック中空成形

□事業や製品(商品)の紹介



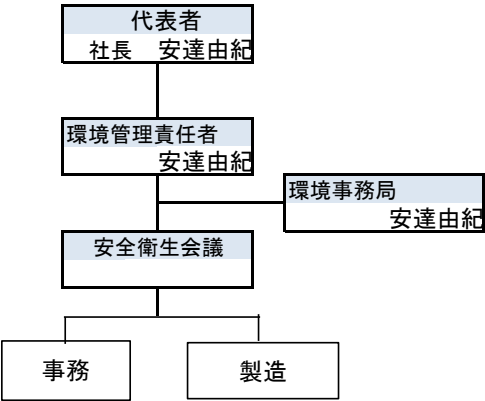
ジャバラ



農機具用部品

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年11月25日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、安全衛生会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
安全衛生会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	78,584	94,468	84,288
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	14	48	47
産業廃棄物排出量	kg	190	285	285
水使用量	m ³	204	324	229

※二酸化炭素排出係数 0.596 kg-CO₂/kWh テブコカスタマーサービスの2017年度調整後の係数

※環境経営目標にない都市ガスを含む

□環境経営目標及びその実績

年 度		基準値	2022年		評 価	2023年	2024年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	90,793	88,070	80,319	○	87,162	86,254
	基準年度比	2021年	97%	88%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,475	3,371	3,809	×	3,406	3,371
	基準年度比	2021年	97%	110%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	94,269	91,441	84,128	90,568	89,625
一般廃棄物の削減	kg	48	47	47	○	47	46
	基準年度比	2021年	98%	98%		98%	97%
廃プラの削減	kg	285	282	285	×	279	274
	基準年度比	2021年	99%	100%		98%	97%
水道水の削減	m ³	324	321	229	○	318	314
	基準年度比	2021年	99%	71%		98%	97%
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)					

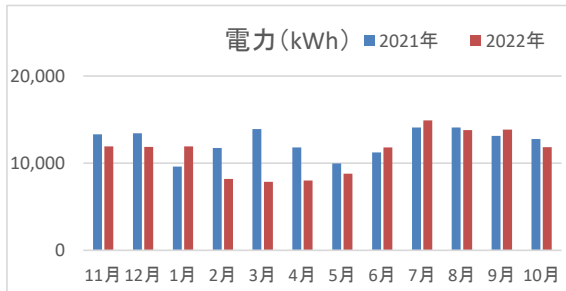
※化学物質を使用していないので、環境経営目標に掲げていない。

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

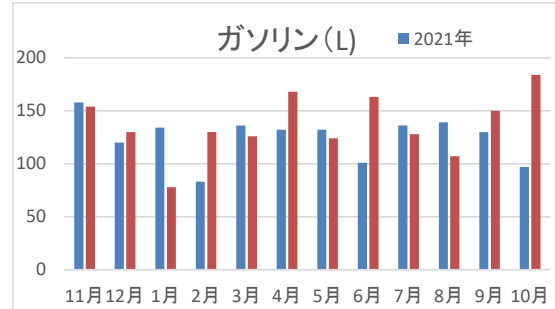
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	使わない電気を消したり、エアコンの温度設定は周知されている。機械の電源を数台同時に入れないようにしたり、エアコンも時間をずらして入れるなどして一度に大量の電力を使わないようにした。次年度は会社内の電気をLEDの変える計画です。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		○	
・不要照明の消灯		○	
・空調機のフィルター清掃		○	
・生産工程の待機時間短縮		○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検		○	



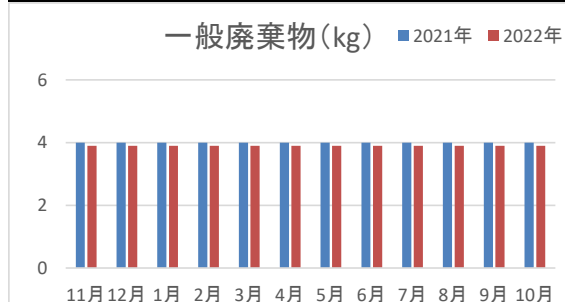
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年	13,311	13,420	9,598	11,732	13,922	11,813	9,955	11,236	14,109	14,109	13,122	12,762
2022年	11,929	11,863	11,935	8,182	7,869	8,000	8,784	11,797	14,904	13,797	13,857	11,846

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	エコドライブに努めているが結果につながらないので、来期は車の台数を減らす事も考える。
・アイドリングストップ	○	
・急加速急発進を控える	○	



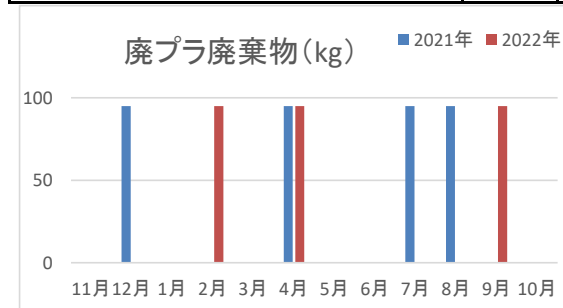
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年	158	120	134	83	136	132	132	101	136	139	130	97
2022年	154	130	78	130	126	168	124	163	128	107	150	184

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	全体的に分別の徹底は周知されている。
・分別の徹底	○	引き続き用紙の再利用、ごみの分別に努める。
0		
0		
0		



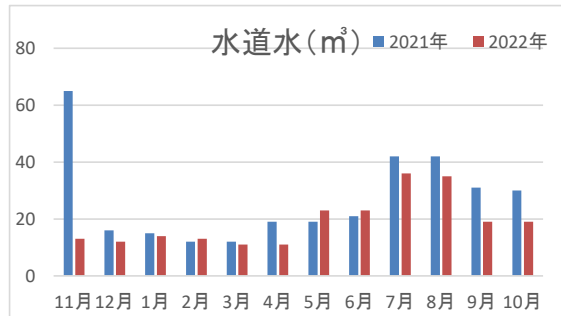
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2022年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標が未達成だったので、製品の切り替え時や、工程を確認しながら作業をするよう周知徹底をした。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	引き続き周知を徹底して廃プラを減らすように努力する。
・バリ発生の抑制	○	
・不良品の削減	○	



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年	0	95	0	0	0	95	0	0	95	95	0	0
2022年	0	0	0	95	0	95	0	0	0	0	95	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	節水に対する意識は根付いている。 引き続き節水を意識し、水漏れが無いかなどの点検もこまめにする。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年	65	16	15	12	12	19	19	21	42	42	31	30
2022年	13	12	14	13	11	11	23	23	36	35	19	19

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減	○	顧客クレームはありませんでした。 引き続き作業工程の確認を徹底して不良率、廃棄率の削減に努める。
・稼働率向上	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄率削減	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ）	○
騒音規制法	ブロー成形機、粉碎機、空気圧縮機	○
振動規制法	ブロー成形機、粉碎機、空気圧縮機	○
フロン排出抑制法	業務用空調機	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

特に、ありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022年10月28日	■実施場所 本社工場2階
■参加者： 全従業員	
■実施内容： □通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 消火器の取扱いの確認と、火災対応手順書の読み合わせ	
■評価：	手順書の変更の必要性 □ あり ☒ なし
消火器の点検と取扱いの確認、火災対応手順書の確認をした。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年11月25日

社員一同活動への意識は高まってきているので引き続き活動への取組に努める。
電力は目標値を達成することができた。引き続き、機械の立ち上げ方に注意し、待機時間を減らすようにするなどに気を付ける。
次年度は蛍光灯をLED電氣に変える予定です。
ガソリンについては目標値を上回る結果になってしまった。エコドライブには気を付けているが、なかなか結果につながらないので次年度は車両を減らす事も考えている。
水の削減、一般廃棄物は目標が達成で引き続きの削減の取り組みを行い、廃プラの削減は目標未達成となったが、製品の代替時への配慮を行う。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり